

くらしナビ 四 カルチャー

上方の市民文化 現代に



大阪自由大学の公開講座。地籍学者・尾池和夫さん(右奥)の席に聴き入る参加者ら。大阪市北区で4月26日、山田由弘氏撮影

大阪自由大学

木津川計さん学長 今夏1周年

昨年7月、大阪市内に「大阪自由大学」(木津川計学長)が誕生した。世代を超えた学びの場を創り出し、モットーは「消費する文化から創造する文化へ」。学校教育法に定める大学とは違い、決まった校舎や先生、正規のカリキュラムや卒業証書もない。公開サロン、講演会、講座などを定期的に開き、現在、NPO(非営利活動法人)の申請をしている。【有本忠浩】

大阪自由大学の理念は、大正や昭和初期、知識欲かられた格闘家や、長野県百田で自主的に運営した教育機関「信濃自由大」(1927年開校、後その時代に突き進んでい



「消費する文化から創造する文化へ」。学校教育法に定める大学とは違い、決まった校舎や先生、正規のカリキュラムや卒業証書もない。公開サロン、講演会、講座などを定期的に開き、現在、NPO(非営利活動法人)の申請をしている。【有本忠浩】

世代超え語り合い、学ぶ場へ

「消費する文化から創造する文化へ」。学校教育法に定める大学とは違い、決まった校舎や先生、正規のカリキュラムや卒業証書もない。公開サロン、講演会、講座などを定期的に開き、現在、NPO(非営利活動法人)の申請をしている。【有本忠浩】

若者にご伝えねば

「消費する文化から創造する文化へ」。学校教育法に定める大学とは違い、決まった校舎や先生、正規のカリキュラムや卒業証書もない。公開サロン、講演会、講座などを定期的に開き、現在、NPO(非営利活動法人)の申請をしている。【有本忠浩】